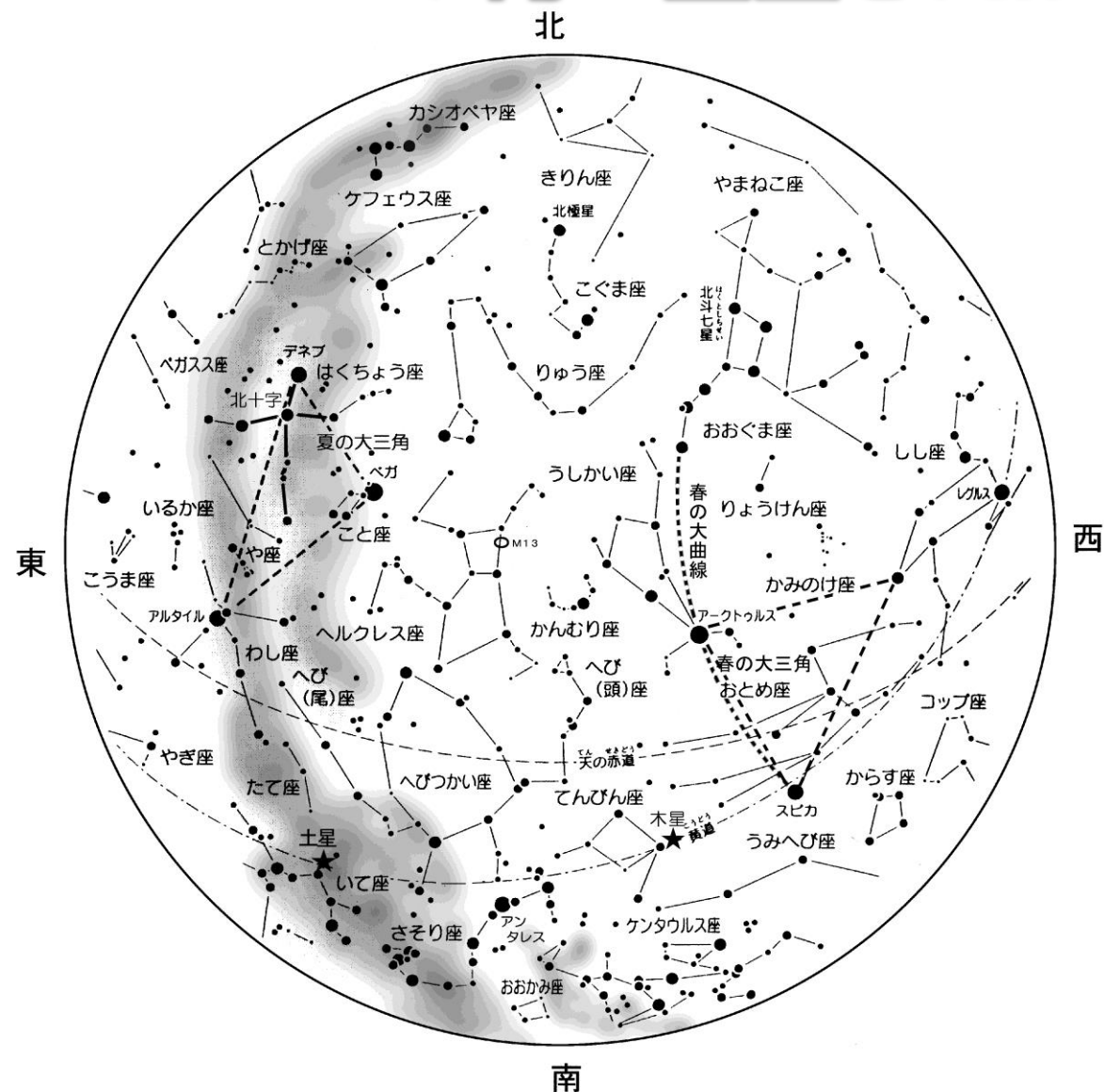


平成30年 7月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

★7月の星空案内

夏の星座探しは、ちょうど頭の真上あたりで、ひときわ白く輝く星から始まります。この星は、こと座の1等星ベガで、七夕の話に登場する“織り姫星”です。では“彦星”はというと…、天の川をはさんで反対側にあります。ベガから南東で輝くわし座の1等星アルタイルが“彦星”です。ベガから北東に目を移すと、はくちょう座の1等星デネブが輝いています。デネブから南側を見ると、大きな十字形が並んでいます。これは「北十字」とよばれ、古くから空を飛ぶ鳥の姿に例えられてきました。デネブは、はくちょうのしっぽの部分で輝く星です。デネブ、ベガ、アルタイルを結ぶと“夏の大三角”ができ、夏の星座探しのよい案内役となります。また、南の空低いところに赤く輝いている星は、さそり座の1等星アンタレス(火星の敵という意味)です。さそり座は、アンタレスを含む「アルファベットのSの字」のような星の並びが目印です。夏の夜空は湿度が高く空気の透明度が低くなりますが、今回ご紹介した星座は容易に見つけることができるので探してみたいかがでしょうか。



< 現在見える惑星 >

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 水星(1.2等前後):かに座→しし座付近 | 上旬～中旬、日没後、西の低空で見える。(下旬は観測に適さない。) |
| 金星(-4.1等前後):しし座付近 | 日没後、西の空でひときわ明るく輝く。 |
| 火星(-2.5等前後):やぎ座付近 | 真夜中、南東～南の空で明るく赤っぽく輝く。 |
| 木星(-2.2等前後):てんびん座付近 | 21時頃、南～南西の空で明るく輝く。 |
| 土星(0.1等前後):いて座付近 | 21時頃、南東～南の空で輝く。 |

注目の天文現象 ～地球に大接近する赤い惑星、火星を見よう！～

7月上旬は午後11時頃、下旬は午後9時頃に、南東の空から赤く明るく輝く星が昇ってきます。7月31日に地球に大接近する火星です。

地球の1つ外側を公転している火星は、約2年2ヶ月ごとに地球に接近しています。しかし火星の公転軌道は楕円形をしているので、地球と火星が接近する位置によって大接近になったり小接近になったりします。今回は地球と火星の距離が小接近時の約半分(5758万9633km)で、大接近と言われる距離での接近となります。火星はもともと地球に距離が近いこともあり、距離が半分になると見た目の大きさは2倍、明るさは4倍にもなります。次に今回と同じくらい大接近するのは2035年ですので、今年ぜひ見ておきたい天文現象の1つです。

大接近と聞くと、その日や時刻ばかりを気にしてしまいがちです。しかし火星の明るさは9月上旬頃まで-2等級を超えているので、2018年夏から秋にかけて、赤く明るく輝く火星を楽しみたいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	金	☾ 下弦 (16:51)	20	金	☾ 上弦 (02:34)
12	木	水星が東方最大離角、冥王星が衝：観望の好期	28	土	☉ 満月 (05:20) 皆既月食 (部分食始 03:24、皆既食始 04:30)
13	金	● 新月 (11:48)			
16	月	夕方、西の空で細い月と金星が接近	31	火	火星が大接近 (16:50)